

平成21年9月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社まんだらけ
 コード番号 2652 URL <http://www.mandarake.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 古川 益蔵
 (氏名) 川代 浩志

TEL 03-3228-0007

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第3四半期の業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第3四半期	5,698	—	300	—	212	—	117	—
20年9月期第3四半期	5,168	10.2	260	△13.0	148	△26.0	151	40.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第3四半期	106.35	—
20年9月期第3四半期	38,536.39	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年9月期第3四半期	8,639	—	2,761	—	32.0	2,500.39	—	
20年9月期	8,574	—	2,651	—	30.9	720,213.58	—	

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 2,761百万円 20年9月期 2,651百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期 (予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	7,225	2.0	374	△10.4	218	6.7	120	△33.7	100.11	

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第3四半期 1,206,000株 20年9月期 4,020株

② 期末自己株式数 21年9月期第3四半期 101,700株 20年9月期 339株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年9月期第3四半期 1,104,300株 20年9月期第3四半期 3,936株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 当社は、平成21年4月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を実施しております。

3. 平成21年9月期の1株当たり配当金(予想)は当該株式分割前の内容を記載しております。株式の分割及び単元株制度の採用並びに定款の一部変更に関するお知らせ(平成21年3月10日開示)に記載のとおり、株式分割後における当期の配当につきましては、正式決定の後、別に発表いたします。

4. 平成21年9月期の業績予想における1株当たり当期純利益は当該株式分割調整後の内容を記載しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題を発端とした国際金融環境の混乱、世界経済全体における減速懸念を受けて大きく冷え込んだ状況にあり、下げ止まりの局面を迎えたとの見方もある一方で、雇用や所得環境は依然として厳しい状態を脱しておらず、個人消費におきましても消費意欲の落ち込みは続き、企業を取り巻く環境は不透明なままで推移いたしました。

当社が関わるまんが、アニメ関連業界及び古本業界におきましては、景気悪化の影響による生活防衛意識が追い風となって市場規模は拡大基調にあります。同時に企業間の競争は国内外を問わず激化の一途をたどっております。

このような経済環境におきまして、当社はこれまでの方針を継続し、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期会計期間の売上高は、移転のうえ大型化いたしました名古屋店、グランドカオス、コンプレックスが通期で貢献し1,939百万円（前年同期比4.5%増）となりました。利益面ではこれらの大型店舗での経費も平準化したことによって営業利益で152百万円（前年同期比45.8%増）となりました。営業利益の増加に加えて、借入金の返済進捗による支払利息等の減少もあり、経常利益は134百万円（前年同期比81.4%増）となり、また四半期純利益では76百万円（前年同期比122.3%増）となりました。

品目別では、地域やジャンルを問わずに市場の拡大を続ける「同人誌」が512百万円（対前年同期比7.1%増）となりました。また、商品の多様性を広げることによって大人から子どもまで、性別にとらわれない幅広いニーズへの対応が進んでいる「TOYS」の売上高は466百万円（対前年同期比2.5%増）となりました。さらに、旧作の復刻や、これまで未収録であった作品の刊行など、新作と併せて話題が相次ぐ日本のまんがに関連した商品が好調に推移し「本」の売上高は424百万円（対前年同期比1.6%増）となりました。加えて、海外での映画賞を獲得するなど、一層の評価向上が著しい日本のアニメーションに関するセル画、CD、DVD等を含む「その他」品目の売上高は532百万円（対前年同期比7.9%増）となりました。

なお、平成21年9月期第1四半期及び第2四半期に係る経営成績に関する定性的情報については、平成21年9月期第1四半期決算短信（平成21年2月13日開示）及び第2四半期決算短信（平成21年5月14日開示）をご参照ください。

※当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しておりますので、上記記載の前年同期比は参考情報として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前会計期間末に比べ99百万円増加し、当第3四半期末には311百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、194百万円となりました。これは主に税引前当期純利益で211百万円、減価償却費141百万円、その他の流動資産の減少198百万円が、支出におけるたな卸資産の増加241百万円を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、38百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が50百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、56百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出506百万円及び短期借入金の返済による支出1,080百万円が、短期借入による収入1,490百万円を上回ることによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社の経営環境につきまして、わが国の経済が回復基調を確実にするには未だ遠く、個人消費も引き続き低調に推移すると思われ、小売業界は依然として厳しい環境が続くものと予想されます。

このような経済情勢にあつて、当社は店舗での販売に加えてWeb通販を各店舗ごとに展開し、また年間4回開催で定着化した大オークション大会をはじめとするオークション販売の充実など販路の拡大に努め、また当社の最大の特徴である商品の買い取りのノウハウを駆使してあらゆるサブカルチャーのメインカルチャー化を図り、未だ価値の見出されていない商品を当社が取り扱うことで、社会的なステイタスを創造し、商材の一層の充実を追求してまいります。

当社は今後もまんが、アニメーションに関連する商品を中心に、新たな商品の取り扱いも積極的に推進し、企業利益の増大を図っていく方針であります。

これらの営業展開によって、既存店舗の好調な業績推移を期待しておりますが、一方で雇用や所得環境の低迷による景気の悪化も懸念されることから、通期の業績予想につきましては、平成20年11月14日に発表いたしました「平成20年9月期決算短信(非連結)」に記載のとおり、売上高7,225百万円、営業利益374百万円、経常利益218百万円、当期純利益120百万円と変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、売価還元法による低価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、売価還元法による低価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

なお、これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	311,495	224,501
受取手形及び売掛金	121,025	103,312
商品及び製品	3,648,376	3,408,372
仕掛品	4,729	616
原材料及び貯蔵品	25,796	28,354
繰延税金資産	168,907	170,221
その他	83,724	283,271
貸倒引当金	△1,072	△1,072
流動資産合計	4,362,984	4,217,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,480,773	2,479,478
減価償却累計額	△984,841	△879,763
建物及び構築物(純額)	1,495,932	1,599,714
土地	2,175,269	2,175,269
その他	554,455	559,452
減価償却累計額	△477,657	△460,014
その他(純額)	76,797	99,438
有形固定資産合計	3,748,000	3,874,422
無形固定資産	56,154	14,197
投資その他の資産		
投資有価証券	42,112	42,019
差入保証金	318,931	323,647
繰延税金資産	75,770	65,564
その他	63,068	65,533
貸倒引当金	△27,789	△28,014
投資その他の資産合計	472,094	468,751
固定資産合計	4,276,248	4,357,371
資産合計	8,639,232	8,574,950

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,225	31,837
短期借入金	2,810,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	625,800	829,345
1年内償還予定の社債	198,500	98,500
未払法人税等	14,397	114,695
賞与引当金	11,150	40,069
その他	267,701	161,543
流動負債合計	3,961,775	3,675,991
固定負債		
社債	1,077,500	1,230,500
長期借入金	690,150	892,700
退職給付引当金	148,623	124,652
固定負債合計	1,916,273	2,247,852
負債合計	5,878,048	5,923,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金	1,117,380	1,117,380
利益剰余金	938,683	828,601
自己株式	△132,712	△132,712
株主資本合計	2,760,791	2,650,709
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	392	396
評価・換算差額等合計	392	396
純資産合計	2,761,184	2,651,106
負債純資産合計	8,639,232	8,574,950

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,698,967
売上原価	2,935,640
売上総利益	2,763,327
販売費及び一般管理費	2,462,703
営業利益	300,623
営業外収益	
受取利息	368
受取配当金	15
その他	28,233
営業外収益合計	28,617
営業外費用	
支払利息	75,956
社債利息	17,807
その他	23,374
営業外費用合計	117,138
経常利益	212,102
特別利益	
貸倒引当金戻入額	225
特別利益合計	225
特別損失	
有形固定資産除却損	683
特別損失合計	683
税引前四半期純利益	211,643
法人税、住民税及び事業税	103,090
法人税等調整額	△8,890
法人税等合計	94,199
四半期純利益	117,443

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,939,509
売上原価	960,996
売上総利益	978,513
販売費及び一般管理費	826,222
営業利益	152,291
営業外収益	
受取利息	32
受取配当金	15
その他	14,358
営業外収益合計	14,406
営業外費用	
支払利息	24,755
社債利息	5,769
その他	1,910
営業外費用合計	32,435
経常利益	134,261
特別利益	
貸倒引当金戻入額	50
特別利益合計	50
税引前四半期純利益	134,311
法人税、住民税及び事業税	49,512
法人税等調整額	8,628
法人税等合計	58,141
四半期純利益	76,170

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	211,643
減価償却費	141,473
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,919
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,970
受取利息及び受取配当金	△483
支払利息	93,764
為替差損益 (△は益)	330
有形固定資産除却損	683
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,712
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△241,559
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,388
その他	285,268
小計	470,624
利息及び配当金の受取額	384
利息の支払額	△77,030
法人税等の支払額	△199,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	12,500
有形固定資産の取得による支出	△5,556
無形固定資産の取得による支出	△50,000
その他	4,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,490,000
短期借入金の返済による支出	△1,080,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△506,095
社債の償還による支出	△53,000
配当金の支払額	△7,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△330
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	99,493
現金及び現金同等物の期首残高	212,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	311,495

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項なし

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期損益計算書

科 目	前第3四半期会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	5,168,328
II 売上原価	2,557,589
売上総利益	2,610,738
返品調整引当金戻入額	264
差引売上総利益	2,611,002
III 販売費及び一般管理費	2,350,840
営業利益	260,162
IV 営業外収益	15,819
V 営業外費用	127,908
経常利益	148,074
VI 特別利益	140,774
VII 特別損失	15,549
税引前第3四半期(当期)純利益	273,299
法人税、住民税及び事業税	126,588
法人税等調整額	△4,968
第3四半期純利益	151,679

(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)
	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第3四半期純利益	273,299
減価償却費	133,895
退職給付引当金の増加額	19,136
賞与引当金の減少額	△27,546
返品調整引当金の減少額	△264
貸倒引当金の減少額	△250
受取利息及び受取配当金	△2,372
支払利息	98,585
為替差損	173
有形固定資産売却益	△140,524
有形固定資産除却損	15,549
売上債権の増加額	△20,356
たな卸資産の増加額	△328,643
仕入債務の増加額	413
その他の流動資産増加額	△27,990
その他の固定資産減少額	2,421
その他の流動負債増加額	70,323
その他の固定負債減少額	△5,667
未払消費税等の増加額	3,275
未収消費税等の減少額	15,701
小計	79,159
利息及び配当金の受取額	2,241
利息の支払額	△87,766
法人税等の支払額	△166,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	△173,310
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△818,223
無形固定資産の取得による支出	△9,157
有形固定資産の売却による収入	432,074
その他の投資の取得による支出	△36,730
その他の収入	16,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315,574
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,950,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000
長期借入金の返済による支出	△561,997
社債の償還による支出	△53,000
配当金の支払額	△9,952
自己株式の取得	△75,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	249,465
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△173
V 現金及び現金同等物の減少額	△239,592
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,078,376
VII 現金及び現金同等物の期末残高	838,784